

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】知・徳・体の調和のとれた米原の子どもの育成—米原っ子に「生きる力」を—
 ○人間力を育む教育の充実
 ○学ぶ意欲を高め確かな学力を育む教育の充実
 ○地域の良さを生かした特色ある教育の推進

【学校 目標】「故郷を愛し 人と関わり 自分を磨く」生徒の育成 ～米原の中心で米原中の存在感を示そう～
 ○故郷を愛する生徒の育成
 ○人と関わる生徒の育成
 ○自分を磨く生徒の育成

【現状と課題】落ち着いた態度で新年度をスタートできた。何事にも生徒の主体性や積極性がさらに向上するとよい。
 ○視点1 「主体的・対話的で深い学び」、「学び合い学習」の視点から、「読み解く力」の育成を図る授業改善に努める。
 ○視点2 互いに支え合い、高め合い、認め合える集団作りを実現する。また、自分の思いを安心して表現できる集団作りを努める。
 ○視点3 コミュニティスクールと地域学校協働活動を推進し、学校と地域が一体となって子どもを育てる。

取組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
【取組事項】 ○「主体的・対話的で深い学び」、「学び合い学習」の視点から、「読み解く力」の育成を図る授業改善に努める。 ○本時のねらいや流れを明確にする。 ○生徒自身が目標設定と自己評価によるPDCAサイクルを確立できるよう支援する。 ○振り返りを通して、やったこと、わかったことを明確にし、次への展望を持たせる工夫。 ○ICT機器の活用。 ○基礎基本を大事にした継続学習を進める。 ○教科面談を実施し、つまづきへの支援や疑問点の解決に向けたサポートをする。 ○「考える」ことを意識した学びを進める。 ○総合的な学習を中心に、課題解決学習(プロジェクト学習)に取り組む。 ○本物体験を推進する。	【取組事項】 ○学年・学級活動を通した民主的な集団作りの充実と安全安心な居場所づくり。 ○生徒指導の3機能を生かした授業作りを行う。 (自己存在感、自己決定の場、共感的人間関係) ○賞賛や励まし、声かけを積極的にする。 ○漢検や英検に積極的にトライし、資格を取るための声かけ。 ○自他の命の尊さを実感させる教育の推進。 ○いじめや差別的な言動のない学校作り。 ○「考え、議論する」道徳の指導の充実。 ○多様な人々や集団との交流。 ○ペアやグループでの活動や話し合いの充実。 ○多様な価値観にふれる工夫。 ○進路指導の充実を図る。	【取組事項】 ○米原中5つの実践を推進し、誰もが居心地のよい学校とする。 ○ICTも含めた学習環境の整備を図る。 ○校内研やOJTを活用した研修を実施し、指導力を向上させる。(新学習指導要領の評価規準作成) ○コミュニティスクールと地域学校協働活動を推進し、学校と地域が一体となって子どもを育てるため、地域の人材等の活用を積極的に行う。 ○学校司書と連携し、読書活動を充実させる。 ○英検対策土曜講座「STEP PREP」の開催。 ○関係機関との連携を図り、生徒理解に一層努める。

その他 取組事項
 ○自主的、自発的な生徒会活動の促進。
 ○生徒会ラブプロジェクト(福祉ボランティア活動)の継続・発展に努め、積極的なボランティア活動の機会を、地域や社会に貢献する意識を醸成。
 ○生徒自身の主体的な部活動運営をめざす。(部活動支援員の活用)
 ○NIE実践指定校として、新聞を活用した授業実践を行う。
 ○家庭学習の充実と、個に応じたきめ細かな指導、助言を行う。
 ○MGK(米原学習教室)として、豊かな経験を持つ退職教員を活用した学力補充を進め、定期テスト直前対策学習会や入試直前対策講座によるフォローアップに努める。

取組の評価				
※プランに示してある数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。				
	取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
全体				
視点1	授業改善に積極的に取り組み、生徒が意欲的に取り組み、生徒にわかりやすい授業を行う。	各教科の授業評価の平均値(学校評価:生徒アンケート)		
視点2	「考え、議論する」道徳の指導。	「道徳の時間は自分を振り返ることができている」(学校評価:生徒アンケート)		
視点3	コミュニティスクールと地域学校協働活動を推進し、学校と地域が一体となって子どもを育てるため、地域の人材等の活用を積極的に行う。	「学校は家庭や地域との連携を大切にしている」(学校評価:保護者アンケート)		
その他	自主的、自発的な生徒会活動の促進。	「米原中の生徒会活動は、私たちの誇りである」(学校評価:生徒アンケート)		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題